

月2回開催 福祉 総合相談所

日頃の心配ごと(生活、財産、事故、離婚など)について、民生委員相談員と弁護士が相談にのります。

親切丁寧な対応をモットーに、身近な悩みでもお受けしています。

相談無料、秘密厳守、予約不要直接おこしください。
開所時間内での電話相談にも応じています。(相談直通電話：☎504-5627 相談日のみ開通)

- 日時：4/11・5/23・6/6・7/18・8/1・9/12・10/17・11/28・12/5・平成19年1/23・2/13・3/27(全て火曜日)
13:00～16:00(最終受付15:30)
弁護士相談の希望者が多数の場合は抽選とします(6名)
- 場所：福祉保健活動拠点(UNEXビル)6階 団体交流室Ⅱ
- 問合：鶴見区社会福祉協議会(☎504-5619)

鶴見区ボランティアセンターの マスコットキャラクター募集!

募集作品：ボラセンのPRなどに使用するためのキャラクターのデザインと愛称

応募方法：鶴見区社協まで持参・郵送してください。
形式：紙に描いたもの(作品)。氏名・住所・TELとキャラクターの簡単な説明を添付。一人何点でも可。ただし、鶴見区のキャラクターとして既に使用されている「つる」「ワニ」以外のもの。

締切：6月30日(金)必着
選考：鶴見区社協で選考します。
採用者には商品券1万円をプレゼント。
その他：・未発表の作品に限ります。作品の返却はいたしません。
・作品の諸権利は鶴見区社会福祉協議会に帰属します。
・作品の使用にあたっては一部を修正することがあります。



例)横浜市ボラセン：ボラちゃん



例)鶴見区：ワックン

広告
170×90mm

『福祉つるみ』第51号 2006年4月発行 発行：社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5階 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616
http://www.yturumi-shakyo.jp/ ●e-mail: yturumi-shakyo@guitar.ocn.ne.jp
企画編集：株式会社オープン 印刷：ツルミ印刷株式会社

「福祉つるみ」の発行月が変わります。6月・10月・3月(予定)毎回全戸配布となります。引き続きPRボックスなどへの配布も行います。
●次号(第52号)は、平成18年6月1日発行予定です。特集...「集まれ!夏のボランティア特集」他(予定)

「福祉つるみ」は録音版・点字版も用意してあります。詳しくは、横浜市鶴見区社会福祉協議会までお問い合わせください。
「福祉つるみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。「福祉つるみ」では広告を募集しております。

福祉つるみ vol.51

横浜市鶴見区社会福祉協議会

http://www.yturumi-shakyo.jp/

●平成18年4月1日発行

C O N T E N T S

特集 善意銀行 ●あたたかい心を多くの人に
はじめませんか!地域で子育て
いざ!という災害に備えて[災害訓練]
つるボラ登場...鶴見ブラインドメイト「ワルツ」
地域の社会貢献活動 ●ジャスコ駒岡店
福祉総合相談所/ボラセンキャラクター募集

【表紙写真：ここは鶴見のどこの空? 問題は下に...】

ここは鶴見のどこの空? ①鶴見橋から
区内を流れる川の風景、
さて、どこから撮ったものでしょうか。
②芦穂橋から
③潮見橋から
**応募方法は
3ページをご覧ください**

(2006年2月撮影)

はじめませんか！ 地域で子育て



会員研修会の様子

ひとむかし前は、ご近所同士でお子さんを一緒に遊ばせたり、お隣のお子さんを預かったり、というつながりがありました。でも今は、ご近所同士のつきあいが薄くなり、子どもの数自体も減ってきて、地域の中で子育て中のお母さんが孤立する、

という声もきかれるようになりまし。ご近所同士の連携と地域ぐるみでの子育て支援を目指そう！と始まったのが、「子育てサポートシステム」です。

このシステムでは、子育ての援助を受けた方が「利用会員」、援助したい方が「提供会員」として登録し、相互の責任と信頼のもと1時間800円の報酬でさまざまな援助活動を行います。両会員のコーディネートは、「地区リーダー」と呼ばれる会員が担当します。

鶴見区での援助活動は、毎月20～40件程度。保育園へ送り迎えをした

り、お母さんが仕事から帰ってくるまで提供会員の家で遊んだり。利用会員からは「会員同士友達になれた」「忙しい時期で助かった」という声が寄せられます。また、提供会員の報告書からは、お子さんの遊んでいる様子や体調面への気くばりもうかがえ、「一生懸命遊ぶ姿が見られてこちらにも楽しい」という声も。また、個別の活動のほかにも、平成17年度は会員研修会や交流会を行い、会員同士の親睦をはかってきました。

しかし、2月現在区内の会員数は、利用会員78名、提供会員23名、両方会員7名。まだまだ提供会員が足りません。「子育てがひと段落した」「自分も子育て中だけど子育て支援にも興味がある」という方、活動に参加してみませんか？ 提供会員になるには、入会説明会の後、2日間の研修を受講することが条件で、20才以上の方ならどなたでも登録できます。もっとこのシステムが盛り上がっていくように、1人でも多くの方のご登録、お待ちしております！

子育てサポートの詳しい説明は、区社協HPまで <http://www.yturumi-shakyo.jp/>

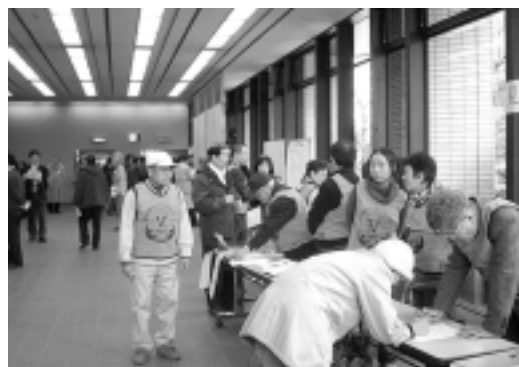
いざ！という災害に備えて 鶴見災ボラ・区役所・地域防災拠点ボラ班・区社協 協働ボランティア訓練



1月20日（金）、災害ボランティアシミュレーション事業が鶴見区役所1階ロビーで行われました。万が一、鶴見が災害で被災した場合、全国からたくさんのボランティアが

救援活動に駆け付けてきます。そうした事態を想定し、区役所職員や地域の方が全国から駆け付けたボランティア役となり、受け入れ・活動への送り出し等のシミュレーション活動が行われました。スタッフ、ボランティア役を合わせ、総勢約170名が訓練に参加。鶴見区災害ボランティアネットワークが中心となり、災害ボランティア本部の立ち上げ、コーディネートを行いました。

災害ボランティアセンター



出勤前の区役所職員も大勢参加

の早期立ち上げ・迅速な対応は、その後の救援活動や復旧にも大きく影響してきます。鶴見区災害ボランティアネットワークではこうした活動の他、地域の防災訓練への参加、被災地での救援活動や交流等、災害に備えた様々な活動を行っています。災害時に備え、普段からのこうした訓練の積み重ねや地域との顔の見える関係づくりが大切です。



鶴見ブラインドメイト「ワルツ」

（プロフィール）

設立：平成3年
活動日：火・金曜日ほか
活動場所：区福祉保健活動拠点
寺尾ケアプラザ
寺尾地区センターほか

「誘導」「音声訳」「点訳」の3つの輪で、視覚障害の方たちとすてきなハーモニーを、と「ワルツ」という名前に。（数年後に「拡大写本」も加わり、4つの輪となりました）

この4分野すべてを行うボランティアグループは数少なく、それが誇

りでもあります。これまで、分野ごとに独立しようという意見が出たこともありました。でも、横の連絡を取り合い、視覚障害の方をしっかりとサポートするために一緒に活動しつづけよう、と今の形を守り続け、今では盤石。そんな「ワルツ」が大好き」と代表の圓尾さん。

きっかけは、平成2年に各区の社協で行われた視覚障害者支援のボランティア養成講座。その呼びかけ人の一人だった井岡さんは今でもワルツで活躍しています。

障害者を支援する一方、学校などの福祉授業へも協力。「始めのうちは技法を伝えるだけで精一杯だったけれど、今ではハートを伝えたい！」。ちょっとした体験

で、子どもたちの障害者の見方が変わる。接し方が分かれば、交差点で困っている視覚障害者に声をかけることもできます。「勇気があるのは始めだけ」と井岡さん。

「鶴見に行くと、みんなが障害のことを理解をして声をかけて助けくれる、だから鶴見に行くと安心だと視覚障害の方に言ってもらえるような地域を作りたい」。これがワルツの夢です。



視覚障害者とボランティアの交流会

地域の社会貢献活動 ● ジャスコ駒岡店

黄色いレシートにおもいをこめて



ジャスコ駒岡店投函ボックスが置かれた3月11日のようす

毎月11日の「イオン・デー」、ジャスコ各店で買い物を

すると黄色いレシートが渡されます。ジャスコ駒岡店でもレシートの色が変わり、1階売場に置かれた専用ボックスにそのレシートを投函する姿が見られます。「幸せの黄色いレシートキャンペーン」は2001年から、イオングループあげて地域密着を強化する目的で取り組みが始まりました。

投函ボックスには、地元で活動する福祉系・環境学習系・街づくり系・文化芸術系・子育て系の団体名があります。買い物で手にしたレシートを、応援したい団体に投函するとその金額が集計（年2回 2月・2月下旬）され、総額の1%にあたる商品がジャスコ駒岡店からその団体に贈られます。高齢者配食サービスを行っているキビタスの会では、食事

を作る調味料の大半を黄色いレシートの応援を通じて手にするといいます。鶴見川クリーンアップ作戦実行委員会も多くのレシートを集めます。

レシートが社会貢献の役に立つ。気軽にできるいいアイデアですが課題もあります。まだまだイエローシートのことを知らないお客さまも多いことです。岡本雅文さんは、今後11日に店内放送でPRをしたり、団体紹介のボードを設け、団体の活動をもっとPRして、イエローシートを多くのお客さまに投函していただきたいと考えているそうです。



岡本さんと投函ボックス

「幸せの黄色いレシートキャンペーン」団体登録などのお問い合わせはジャスコ駒岡店 585-7000(代) 585-7042(直通) 担当：岡本雅文さん

『福祉つるみ』を定期購読してみませんか

定期購読を希望される方は、80円切手を4枚と必要事項（〒・住所・氏名・電話番号）を記入の上、封書で下記住所の「定期購読」係までお申し込みください。〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5F 鶴見区社会福祉協議会

表紙「鶴見の空」クイズ&愛読者アンケート

バスネット1,000円分を5名にプレゼント！



バスネットのデザインは写真と異なる場合があります。

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください！正解者に抽選でバスネットをプレゼントします。

応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答 ②〒・住所・氏名・TEL・性別・年齢 ③『福祉つるみ』を手にいれた場所 ④今号の中でよかった記事 ⑤取り上げてほしいテーマ ⑥感想を記入の上、5月31日（必着）までに下記住所「アンケート係」へ。（今回掲載したジャスコ駒岡店のような、企業などの社会貢献の活動をご存じの方も、ぜひお知らせください）

当選者は次号にてご紹介します。頂いたご意見は紙面でご紹介させていただくことがありますのでご了承ください。第50号当選者 相沢様 大川様 佐野様 平本様（五十音順・敬称略）〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5階 鶴見区社会福祉協議会（☎：504-5616 Eメール：yturumi-shakyo@guitar.ocn.ne.jp）

くらしに、まちに、あなたのお金が生きている。

みなさんのあたたかい心を寄附金としてお預かりします。その「善意」を必要とする人や団体に届けることは、まるで善意の銀行のよう…だから「善意銀行」といいます。

寄付はこうやって集まります



明治42年生まれの
まもなく97歳

◆阿佐貞太郎さん

「寄付というと、何万円もしないといけないと思っている人もいるけど、1円だって構わない」と阿佐貞太郎さん。善意銀行の常連さんです。毎月こつこつと区社協に通ってなんと15年を超えます。「運動にもなるし、ついでに床屋に寄ったりもする」。

寄付には小学生の頃から興味があったといいます。生まれは徳島県、甲子園名門校・池田高校の一回生。地元の人たちは、寄付を集めて郷土の誇りである野球部を送り出してきました。だから寄付は昔から身近にあったのかもしれません。遠くの災害に寄付するのも大切だけれど、多くの人にもっと地元を元気づけてほしい、と阿佐さんは考えています。「バチンコやったって、一杯やったってなにがしかはかかるんだし」。寄付をすると見る目が広くなると、世間が広くなるとも話します。

元マラソン選手の有森さんの「自分をほめてやりたい」という言葉が好き。これまで自治会や老人会でも活躍してきました。働きあげた京浜急行では、OBの最長老として現役の人に歴史を伝えることも。そして家では、今でも40鉢もの菊の花を育て続けています。「自分をほめてやりたい」。

寄付者の名前は毎月の市の広報よこはま鶴見区版に載ります。それは自分が元気であることの証明。阿佐さんの名前を見つけるのを楽しみにしている知り合いも多くいます。「だからやめられない」。

◆東台小学校三世代 光の子フェスティバル

東台小学校100周年をきっかけに始まったのがこのフェスティバル。でも、フリーマーケットなどもやってみたいけれどなんだかいまいとつ。「もっとお客さんが最後まで帰らないイベントにしたい」と知恵を絞った結果、チャリティ抽選会へと行き着きました。その収益を善意銀行に寄付し続けてもう9年目。

チャリティの仕組みはというと…。参加者は50円の寄付と引き替えに「くじ」をもらえます。当たりくじ200本の景品は、地元の企業やお店から譲り受けたもの。島忠やライフ、東寺尾郵便局や東台小同窓会をはじめ、今では協力団体は30を超えます。



大盛況のチャリティ抽選会

抽選会が盛り上がる一方、チャリティの意味を理解しない品物目当ての参加者も多いのでは？という疑問もわかりました。でもそこは「よく説明してわかってもらおう」。抽選会場には善意銀行についての看板を立て、みんなの目に入るように配置。でも、なぜ善意銀行を寄付先に？「寄付先を色々調べて、目に見える形で地元で使われるところに決めました」と、当初からのスタッフの河野さんは話します。

「三世代」という名前は、すべての世代が楽しめるようにという思いから。「スタッフがすばらしい」そして「子どもたちの教育の発表の大切な機会」と話すのは小山副校長。実際、地元で一丸となって作り上げるこのフェスティバルでは、ほのぼのとした交流があちこちで繰り広げられます。「地域の学校、まちの学校ですからね」。

鶴見区特定郵便局

～チャリティバザー & フリーマーケット～【寄稿】



鶴見駅西口ショッピングモール

現在、鶴見区内には22の特定郵便局が営業しています。その22局から、各1名参加の打ち合わせ会が開催されました。日頃郵便局をご利用いただいている地域の皆さまに、感謝の気持ちを表したいと、施策を検討するのが目的でした。

その結果、平成10年11月、第1回目を、鶴見駅西口ショッピングモールで実施することとなりました。バザーの売上金とフリーマーケットの出店料は、毎年鶴見区社協へ寄付させていただいております。

バザーの物品は局長、職員全員から募り、値札付け班、場所取り班、清掃班、売り子班等々役割分担し、鶴見区内特定郵便局全員一丸となって取り組んでいます。

当日は、窓口をご利用いただいているお客様から声を掛けられ、局ではなかった会話を交わすことができ、今まで以上の親しい関係を築いています。平成10年に開催して以来、毎年1回継続できたのも、この地域の皆さまとの楽しいひとときが忘れられないからです。

平成19年10月、郵便局は民営化になりますが、これからも明るく元気よく地域の皆さまに貢献できるようにがんばります。

(鶴見区特定郵便局一同)



全5回の英語点訳講座。14名が真剣に勉強しました

◆鶴見ブラインドメイト 「ワルツ」点訳～英字点訳講座

視覚障害者のための点訳は、今はパソコンを使うのが主流で技術は日進月歩。便利になる一方、ボランティアたちはつねに勉強し続けなければなりません。

そんな中、ワルツが挑戦したのが「英語点訳」。最近では、一般の本や雑誌にも英語が混ざることが増えました。また、学校では点字の教材が用意されますが、参考書や副読本はボランティアに依頼が入ることも。「大学受験のため」と言われたら、対応しないわけにはいきません。

「2級点字」という中学生以上が使う英語点訳では、フルスペルでなく「-ing」「-tion」などを短く表記する特別なルールなど、覚えることは山ほど。少しでも短く表すことで用紙の節約にもなり、依頼者の費用負担を減らすことにもつながります。

「点訳活動は、パソコンなどの機材や専門の講師を招いての研修など、とても費用がかかります。善意銀行の助成があって本当に助かった」とチーフの金井さん。「作ったものが役に立つのがうれしい。これからもできる限り依頼にこたえていきたいです」。

◆地域活動ホームもとみや ～パソコン購入

地域活動ホームもとみやは鶴見区元宮に位置し、知的障害者デイサービスを提供しています。現在の利用者は28名、20歳から上は60代まで幅広い年齢層でみんな元気に活動しています。

善意銀行の配分を受け、最近では事務用品としてノート型パソコンを購入しました。今まで手作業で行ってきた利用者へのお知らせ（活動ホームもとみやの行事や地域の催し）や月刊のお便り（行事予定表・行事報告・給食の献立表）も、パソコンを使って作るときれいで早い！また関係団体へのお知らせも以前は郵送かファックスでしたが、今ではパソコンのメールを使うため、いち早く情報の交換ができるようになりました。「とっても便利になり助かっています」と所長の細川さん。その他にも余暇活動の一環として行っている青年学級の宿泊や日帰りイベントの活動経費や事務費としても大切に使用しているそうです。

地域で役立てられます

◆江ヶ崎町社協 ～江ヶ崎公会堂バリアフリー計画

江ヶ崎町社協は、区内唯一の町社協。多岐にわたる活動を繰り広げていくには物資もお金も必要。そんな中で善意銀行配分金は大切な財源となっています。

「子育て広場」ではマットやおもちゃを購入し、子どもにもお母さんにも喜ばれました。高齢者の「長寿を祝う集い」では、おいしい手づくりの料理をさらに引き立てるためのお弁当箱を購入、スタッフにも「使い捨てのお弁当箱でなくなった分ゴミも減った」と好評。そんな使い道の中でも一際目立つのが、拠点となる江ヶ崎公会堂のバリアフリー計画。公会堂の2階の和室に行くには、手すりのない階段を登らなければなりません。そこで江ヶ崎町社協では住民からの要望を受け、階段に手すりを設置、板張りの廊下を絨毯張りにして滑らないようにしました。善意銀行を利用して、もっと安全で使いやすい活動拠点へと、変貌を遂げたのです。

「もっと社協の活動を知って欲しい。こんなふうに使わせていただいていると知ってもらおうことが、寄付をくださる方への励みになるのでは」と会長の鴨志田さん。「今後も住民の声を取り入れながら、活動に力を入れていきます」。



バリアフリー施工後の階段
事業にも参加者が増えたそうです

「善意銀行」の 言葉の由来

「善意銀行」は、昭和37年に徳島の社協で誕生。金品の寄付や労力（ボランティア）を預かり、必要とところに配分するという仕組みが、まるで「善意の銀行」のようだったため、この名前がつけました。当時はまだ「ボランティア」という言葉は一般的ではなかったのです。今では、「ボランティアセンター」の中で、金品のやりとりの部分を「善意銀行」と呼んでいます。

次のページでは寄付のしくみ
などをご紹介します。

1 預託

預託金(寄付)は こうやって集まります

平成16年度には、815万円もの
預託金が集まりました。預託金は、
①社会福祉 ②障害者福祉 ③高齢
者福祉 ④児童福祉の ⑤希望預託
の4つの分野で受付。

では、そのお金は、どうやって集
まってきたのでしょうか。

寄付をしていただくと...

- 個人の場合：確定申告によっ
て所得税法（第78条）の「寄
付金控除」を受けられます。
- 法人の場合：確定申告によっ
て寄付された金額の一部を法
人税法（第37条）の規定により
損金算入することができます。
- 「広報よこはま鶴見区版」「福
祉つるみ」に寄付者名が掲載
されます。（匿名も可）
- 金額や年数によって区社協や
市社協、市長の表彰の対象と
させていただきます。

寄付の方法は？

- ・ 区社協窓口へ持参：月～金
8：45～17：15（祝日を除く）
- ・ 銀行振込：事前にご連絡くだ
さい。恐れ入りますが、手数料
はご負担ください。

物品（お菓子、車いす、シーツな
ど）の預託も受付中。お預かりで
きない大きな物は、福祉施設など
にお知らせして希望者を募り、寄
付者とやりとりしていただくよう
調整します。（希望が少ないうち
のや年代の古いものはお断りする場
合もあります）

2 ボランティアセンター

運営委員会

大切に使うために 話し合います

区社協ではボランティアセンター
運営委員会を設置し、預託金の使い
道や配分の方法などを話し合います。
また、配分を受けたい団体の申請の
審査も行います。

メンバー

福祉施設、連合町内会、地区社協、
ボランティア団体、障害者地域作業
所、当事者団体、学識経験者、行政

3 配分

地域で役立てられます

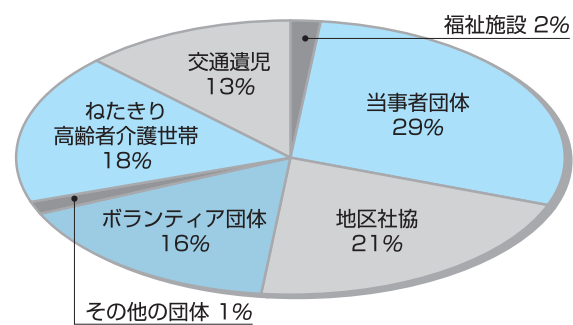
預託金は、申請に基づいて配分さ
れ、施設や団体などに活用されます。

- ① イベント
- ② 実行委員会形式事業
- ③ 団体活動助成費
- ④ 立ち上げ資金
- ⑤ 備品整備費
- ⑥ 活性化事業
- ⑦ 区社協事業活動費など

項目により5万～20万円の範囲内で
配分）

平成16年度の団体への配分状況

計886万円（平成15年度繰越金を含む）



その他、区社協事業（親子のひろば、障害児余暇支援事業・障害者ふれあい運動会）にも活用
しています。

● 善意銀行寄付

善意の寄付をありがとうございました
平成17年12月1日～平成18年2月28日
（ ）内は寄付回数

金銭をお寄せいただいた方々（敬称略）

平井 洵子（3）／貴田 米吉（2）／横
山 久祐（2）／白 容子／工藤 高之
祐（3）／潮田地区センターチャリ
ティーダンスパーティー実行委員
会／横浜市生麦地区センター／（社）
鶴見法人会 女性部会／横浜鶴見
西ライオンズクラブ 横浜鶴見東ラ
イオンズクラブ／白鵬女子高等学
校／及川 朱實／佐々木 悦子／鶴見
区聴覚障害者協会／鶴見区ボラン
ティア連絡会／岩澤 多鶴子（3）／
市場地区自治連合会 市場地区社会
福祉協議会／林 孝／（株）かない
や／鶴見ステーションビル（株）／
佐久間 正己／森谷 興三／大本山總
持寺三松会／旭硝子労働組合京浜
支部／旭硝子労働組合本部／旭硝
子労働組合本社分会／（株）サムス
ン横浜研究所（株）タンガロイ／八
樹 らん子／株式会社ニュートーヨ
ー（2）／土屋 きみ子／樋高 禮子／
小野 梅子／北村 俊一／阿佐 貞太
郎（2）／片山 英美／片山 恵／片
山 宏美／片山 修一／岩田バレエ
団／潮田町二丁目町会／鶴見区自
治連合会婦人部／中島 明高／松緑
神道大和山横浜教区婦人会／鶴見
薬剤師会／コールグリーンロー
ド／小野 芳太郎／匿名

物品をお寄せいただいた方々（敬称略）

松本 レイ子／日産自動車（株）横浜
工場／吉兆グループ（3）／鶴見薬
剤師会

区社協より

手話入門講座

手話やボランティアに興味のある方、ご
参加ください。初めての人が対象です。

- 日時 5 / 13～7 / 15
毎週土曜日 13：30～15：30
- 場所 UNEXビル5Fまたは6F
- 申込 4 / 20日（木）必着で、住所・
氏名・電話・年齢・職業を明
記し、往復はがきにて。
- その他 30名定員。
応募多数の場合は抽選。

おやこのひろば「そらまめ」

ボランティア募集！



かわいい子どもたちから活力をもらって
若返りましょう。生き生きしたい方、子
どもが大好きな方募集中です。

- 日時 火・木・金 9：30～16：30
のうち都合のよいとき
- 内容 子どもの見守り等
読み聞かせ・飾りつけ・おもちゃ作り
等、得意なことを生かしていただくのも
歓迎。率先してプログラムを提供する
というより、親子が気持ちよく過ごすた
めのお手伝いです。

福祉総合相談所

開催日程変更のお知らせ

平成18年度より、毎月1回の開催とな
りました。詳しくは、8ページをご参照
ください。

子育てサポートシステム説明会

子育てをお手伝いして欲しい方、して下
さる方が相互に登録し、お互いの信頼関
係をもとに援助活動を行うシステムで
す。登録ご希望の方は、説明会にご出席
下さい。お子さんも一緒にご参加でき
ます。

- 日時 4 / 20（木） 5 / 31（水）

- 6 / 28（水）
- 14：00～15：00
- 場所 UNEXビル5Fまたは6F
- 申込 前日までに、氏名・住所・
TEL・利用 / 提供会員どちら
をご希望かを電話またはFAX
にて。

その他

一歩舎 第15回フラワーバザール

- 日時 4月16日（日）
10：00～14：00
- 場所 一歩舎
- 内容 花、手作り品、リサイクル品、
軽食の販売など。
- 連絡先 障害者地域作業所一歩舎
（下末吉2-9-2 ☎ ☎ 575-2656）
- その他 不要品等の寄贈も受付中。ご
連絡いただければ取りにうか
がいます。

作業所自主製品の販売

区内の地域作業所等で作成している自主
製品の販売会を行います。日用品やお菓
子など、まごころのこもった製品をぜひ
ご覧ください。

- 日時 4 / 28 5 / 26 6 / 23
（全て金曜日）
10：00～15：00
- 場所 区役所1階ロビー

鶴見区知的障害児者親の会「ひよこ会」

保育ボランティア募集

発達に遅れがある入園前の子どもたちと
楽しく遊んでくれる方を募集していま
す。

- 日時 毎週月・水曜日（週1でも可）
9：40～13：30
- 場所 地域活動ホームもとみや・神
奈川県競輪組合
- 内容 公園の散歩や外遊びの付添い
- 連絡先 鶴見区ボランティアセンター
（区社協内）☎ 504-5625

鶴見区知的障害児余暇活動グループ



『ゼリーピーン
ズ』ボランティ
ア募集
子どもたちと
一緒にいろんな
ところに行ってみ
ませんか？元氣

な子どもたちをサポートしてくれる方募
集中！

- 日時 第3日曜日
9：30～15：30
- 内容 知的障害児の余暇活動のサポ
ート
- 募集年齢 17歳以上30歳以下
- 問合せ 鶴見区ボランティアセンター
（区社協内）☎ 504-5619

やまゆりホーム フリーマーケット

出店者・参加者募集！

楽しいフリーマーケットになるよう、皆
さまの出店・参加をお待ちしています。

- 日時 5月20日（土）
10：00～14：30
- 場所 やまゆりホーム園庭（雨天時
はデイサービスホール）
- 連絡先 特別養護老人ホームやまゆり
ホーム（獅子ヶ谷2-15-18
☎ 583-1833）

障害者余暇活動 てらおブラリーズ

ボランティア募集

障害のあるなしに関わらず一緒に遊びま
しょう。10代～20代前半のメンバーが
ボーリングや野球観戦などのお出掛けを
しています。まずはご参加を！

- 日時 第4土曜日午後
- 内容 軽度知的障がい者の余暇活動
のサポート
- 問合せ 寺尾地域ケアプラザ
（東寺尾6-37-14
☎ 585-5566）

編集後記

「善意銀行」への寄付金は、いったん
区社協に集まってしまうと、どんな
方が寄付してくださって、どうや
って使われているのかわからなくな
ってしまいます。そこで今回の特集を
組みました。これからも、個人の方
から企業の皆さんまで、多くの方
のご協力をお待ちしています。（K）

● 編集委員

小山 和雄 谷口 みつ子
三原 恵子 林 沙織 平松 繁利



JR鶴見駅徒歩5分 / 京急鶴見駅徒歩4分 みずほ銀行鶴見支店隣